

Radixの会総会1部講演録

『Radixの会はどこまで来たか』

Radix

② 注文品の取り組み

注文品ではまず、畜産飼料として非遺伝子組み換えについてのマークの説明。対象外190と切り替え中で現わしています。また加工品の原料、この議論はまだありますが、加工原料でモチとか有機農産物のJAS認証を使ったもの並びにRadixの基準に合うもの、低農薬、そしてそれ以外の一般のものということでも会員さんにお話ししております。また非遺伝子組み換えの大豆等々のことでも格付けの検査機関でやっているPCR検査での分別も表示して来ております。

〔品質価値〕

① 品質を担保する

有機JASや海外のオーガニック基準のテーブルに乗りたくないという明確な意志として、また環境保全型農産物の示す品質の最低限の担保として、禁止農薬リストを発行しました。これは食べる人の安全ということですが、もう1つには、やはり農薬の飛散を受ける作り手の安全、ということです。現在禁止農薬1285アイテムをリスト化しています。

また、せめて自分の畑ぐらい窒素分がどうなのかというような、窒素、リン酸、加里を含めて見てみよう、昨年からは生産者には必ず土壌分析値を1枚付けてもらっています。

さらには農薬の所有一覧表、農薬

を持っているかいないか、持っているらどこに置いているか、カギを付けているか、ということすべて生産者をお願いして調査しています。2年前にヨーロッパに生産者と行きましたが、農薬の管理というのは徹底的にやっています。やはり農薬は危険なものだから保管しようと、このようリストをお願いしています。

環境保全型農産物ということで、皆さんのエネルギー消費を調査しています。今回、約1077名のエネルギー台帳が集まり、すべて使われている金額1億7600万、1人あたりでは16万3934円。使っているから今すぐ悪いということではなく、らでいっしゅは旬の野菜を売っているのだし、実際どれだけのエネルギーをかけているのか、まず情報を把握した上で次の施策を打ちたいというようなものです。

② 品質を向上する

らでいっしゅぼーやは、作物技術交流会、知ってのとおり年間12本から14本、開催し続けています。昔の集会では、よく農政の批判やら減反反対などをやっていたんですが、とにかくオレらはプロなのだから桃だけ集まって情報を出して、そして品質を上げていこうということで、日本全国から桃の生産者が集まる、ブドウ生産者が集まる、梨生産者が集まる。これは誰のためにやっているかという、会員さんのためです。

農産だけでなく、加工も今度はどうでもわかりやすくなると思います。砂糖については指針がこうで、取り扱い基準、禁止事項は三温糖と上白糖でうんぬんと、表示方法はこうと品目別にやっておりますので楽しみにしてください。畜産の方もこの1年、精力的に活動しはじめ、近々の基準の改定を進めております。知ってのとおりいろいろな状況の変化がありますので変えています。

〔未来価値〕 Radixの会の活動

最後に未来価値ということで、らでいっしゅぼーやは、届け手の私どもとRadixの会、作り手の生産者・メーカーの皆さんとの両輪がなければいけないだろうということです。ですからRadixの会の活動は、両輪のもうひとつということです。その第一段階としての96年から99年。このときは皆さんからは何をやっているのかよく分からないというような声が聞かれました。あとはお金の使い方がどうなっているのかということがありましたが、ずっとやってきたのは、やはり社会的な認知度を上げたかったのです。

JAS法の施行を見据えて、Radixの基準と、ヨーロッパで進んでいるIFOAMの世界基準との整合性を模索することが大きな課題でした。そして私たちは、全国、北海道から九州まで一律の基準をただ単に作っ

環境保全型農産物の条件

- 除草剤の不使用
- 土壌消毒の禁止
- 禁止農薬の不使用

Radix 環境保全型生産基準管理				
禁止・制限農薬1285アイテム				
使用禁止及び制限農薬リスト (2000年版)				
農薬用途	商品名(登録名)	原体名	禁止農薬	制限農薬
201	防虫剤	DT100*	CV01-MEP	○
202		DT100*	DT100	○
203		DT100*	DT100	○
204		DT100*	DT100	○
205		DT100*	DT100	○
206		DT100*	DT100	○
207		DT100*	DT100	○
208		DT100*	DT100	○
209		DT100*	DT100	○
210		DT100*	DT100	○
211		DT100*	DT100	○

作物別技術交流集会

